

クラッシー

CLASSY

発行 筑後八女地区 西日本新聞エリアセンター
 企画 イースタンコミュニケーションズ
 印刷 株式会社 東兄弟 TEL 0943-24-2111
 八女市祈禱院563 〒834-0025
 HP: www.wing8.com/dc-city-yame/

クラッシーのバックナンバー(2010.1.1号より)がインターネットでご覧になれます。
 「デジタルシティやめ」→クラッシー→検索

4 APR

	日	月	火	水	木	金	土
						1	2
						3	4
5	6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28
29	30	31					

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
くらぎふるさと日曜日市 上陽ふるさと市 毎週日曜日 毎週土曜日 ○読み聞かせ 八女市立図書館(本館) 毎週土曜日 午後2時~ ゆめみらい図書館(黒木分館) 毎月第2土曜日 午前11時~ ○赤ちゃん読み聞かせ 八女市立図書館(本館) 毎月第3水曜日 午前11時~ ゆめみらい図書館(黒木分館) 毎月第4木曜日 午前11時~		1 3月2日 仏滅	2 3日 大安	3 4日 赤口	4 5日 先勝	5 6日 友引
				弁護士無料法律相談 (福岡法務局八女支局) 要予約 ☎23-2603	なんでも人権相談所 (八女市社会福祉会館)	松尾弁財天縁日 (立花町) ヤマメ釣り体験開始 (土・日・祝日) (矢部村柚の里)
6 7日 先負	7 8日 先負	8 9日 大安	9 10日 赤口	10 11日 先勝	11 12日 友引	12 13日 先負
春風の韻 (おりなす八女)	べんがらの日 (べんがら村) 大浴場お一人様300円	釈迦堂甘茶まつり (八女市亀甲)	なんでも人権相談所 (筑後市勤労者家庭支援施設) (立花市民センター)	無料法律相談 13:30~要予約 (八女民主商工会) ☎24-2727	なんでも人権相談所 (地域交流センター) シャクナゲまつり ~5月6日 (星の花公園)	
13 14日 仏滅	14 15日 大安	15 16日 赤口	16 17日 先勝	17 18日 友引	18 19日 先負	19 20日 仏滅
八女軽トラ市 9:30~13:00 (八女観光物産館駐車場)			社会保険個別相談会 10:00~15:00 (八女商工会議所) 要予約 0942-33-6215	弁護士無料法律相談 (福岡法務局八女支局) 要予約 ☎23-2603 なんでも人権相談所 (広川町はなやぎの里)	定例法律相談会 (要予約) 10:00~12:00 (八女商工会議所) ☎22-5161	
20 21日 大安	21 22日 赤口	22 23日 先勝	23 24日 友引	24 25日 先負	25 26日 仏滅	26 27日 大安
カラ迫岳山開き (星野村)	べんがらの日 (べんがら村) 大浴場お一人様300円					お風呂の日 (グリーンピア八女) (温泉館きらら) (不動温泉八女) (公園の宿) (べんがら村)
27 28日 赤口	28 29日 先勝	29 4月1日 仏滅 昭和の日	30 2日 大安	心配ごと相談(八女市) 八女市社会福祉会館 4月2日・16日・30日 黒木町ふじの里 4月2日・16日 上陽町地域福祉センター 4月9日・23日 立花町かがやき 4月9日・23日 法律相談(要予約) 八女市社会福祉会館 4月11日 黒木町ふじの里 4月18日 上陽町地域福祉センター 4月25日 司法書士相談 黒木町ふじの里 4月11日 八女市社会福祉会館 4月18日 筑後市 心配ごと相談 毎週木曜日/総合福祉センター		

日向神ダム湖畔の千本桜も花ひらく四月。新年度へのスタート。新入生の笑顔あふれる晴れの希望の門出。▼しかし去る三月は惜別の日々。黒木地区では、大淵、木屋、笠原の小学校統廃合。大淵小は平成九年、敷地も広く理想的な新校舎建築。共に校歌も新しく作詞。きよらかに雲なされるふるさと、歴史のつたえ金鳥のしるし」と歌ったのも消去も運命。そこで、作詞者、全児童34名の校歌斉唱を記念に耳にとめたく学校訪問。大講堂での少数ながら明朗清らかな合唱を聴取。その後、思いがけない花束贈呈。児童代表六年女子の謝辞。「この大淵小でみんなで歌った校歌決して忘れません。」作詞者、感激、胸一杯の冥利。▼3/16市民会館『おりなす八女』ハルモニールに於て、『良成親王と姫御前』黒木大藤物語、藤の記憶”公演。今を去る六百有余年の昔、南朝哀恋の秘話を唄い、語りつぐミュージカル。樋口健志氏企画好枝夫人演出による美事なドラマの展開。藤の花香るふるさと、あたゝかな人情を今に語りつこうという意図が笑いと涙に交錯、町の子どもも多数の出演。直木賞作家の阿部龍太郎氏が「我々は過去を生きた人々の恩恵に浴している」とメッセージを贈っているがまさしくその趣旨具現のドラマと感銘。

天宮ふんより
 桜も藤も花ひらく
 ふるさと四月
 詩人 推窓 猛